

資料：区民会議等議事録書式

第2回 南区区民会議 議事録		第2回 区民会議 平成28年6月24日 SMC16-122-01		
		承認	作成	
記録作成者	(氏名) 石川憲次 H28/6/30	(氏名) 生越康治 H28/6/30		
議 題	(1) 前回までの会議まとめ (2) 施策の検討 (3) アンケート調査の実施について (4) 協議スケジュールの検討			
日 時	平成28年6月24日(金) 17時00分 ~ 19時00分			
場 所	武蔵浦和コミュニティセンター8階 第7集会室			
出席者 (敬称略)	区民会議委員：秋山 光行 網野 希美 磯 正 牛山 時恵 石川 憲次 大熊ミネ子 大高 昭雄 小林 直太 坂井 陽介 新川 貞夫 新藤 賢一 高橋 央 田中 一正 手塚 健一 中村 真人 細瀨 久美子 松本 勲 (委員出席17名 委員欠席3名) 南区役所職員：副区長 コミュニティ課長 コミュニティ課参与 企画係長 企画係主任 支援者： 都市づくりNPO さいたま 中津原努 生越康治(記)			
会議項目	1 開会 2 議事 3 その他 4 閉会			
資 料	資料1 SMC16-121 - 01 第2回南区区民会議 施策検討資料(一覧) 資料2 SMC16-121 - 02 施策検討シート 5月9日会議まとめ案 資料3 SMC16-121 - 03 施策に関するアンケート調査について(提案) 資料4 SMC16-121 - 04 平成28年度南区区民会議スケジュール(案) その他 ・防災講演会の開催について(御案内) ・さいたまトリエンナーレ2016 市民説明会開催のご案内			

今回の決定事項
<ul style="list-style-type: none"> 7つの施策で継続して協議するが施策7に関しては、「居場所づくり」あるいは「使いやすい施設づくり」の趣旨で内容を変更する アンケートは実施することとなり、内容や方法については次回会議で協議する

要対応事項	担当者	締切日
<ul style="list-style-type: none"> 施策の表現等の整理 アンケート実施、内容についての案を作成 	活動支援者 事務局	

議 事 内 容

(※以下、委員名は順不同でアルファベットで記載)

【第2回南区区民会議】

1 開会 (コミュニティ課 課長より)

- ※ 本日の出席者(委員)が17名であり、南区区民会議第5条第3項に基づき、委員が過半数に達していることから、本日の会議が成立したことを報告。
- ※ 南区区民会議は公開が前提であるが、本日は傍聴人がいないことを報告。
- ※ 会議録作成のため、録音及び写真撮影を行うことへの了承を委員に求め、了承された。
- ※ 配布資料の確認
- ※ 南区区民会議設置要綱第8条に基づき、オブザーバーとして井上副区長の出席の了解を委員に求め、了承された。
- ※ 南区区民会議に支援者が同席することの了解を委員に求め、了承された。

2 議事 (南区区民会議設置要綱第5条第2項に基づき、石川会長により進行)

議 長：それでは、議事をすすめさせていただきます。本日も引き続き「地域交流の促進による安心して生き生きと暮らせるまちづくり」に関して、施策の協議をおこないます。その前に、前回までのまとめについて、活動支援者より説明をお願いいたします。

支援者：資料1、施策検討資料の一覧を御覧ください。これは、資料2の施策検討シートの主な部分を検討しやすいように一覧にまとめた資料です。施策1「自治会への参加促進キャンペーン」、施策2「ファミリー対象イベント みなみフレンドパークの開催」、施策3「高齢者の知識・経験活かした、区民セミナーの開催」、施策4「南区地域活動掲示板をつくる」、施策5「シニアサポートセンターを核にした高齢者の見守り」、施策6「子育て支援策の充実」、施策7「公共施設を活用したイベントの開催」について担い手や対象エリア、具体的な事業アイデア、優先的に取り組むこと、施策の評価についてそれぞれ記載しております。

議 長：ありがとうございました。今の説明に関して、何かご質問ありますでしょうか。具体的な協議に関しては次の議題とさせていただきます。では活動支援者に協議の進め方の説明とファシリテートをお願い致します。

支援者：今までは2つのグループに分かれて協議をしてきましたが、本日は全体で具体的な内容の共有や掘り下げをしていただきます。内容によっては施策の統合や整理などもあるかと思えます。まずはそれぞれ、内容についての質問等、ご意見をいただければと思います。

委員 A：施策5「シニアサポートセンターを核にした高齢者の見守り」についてですが、南区内にある地域包括支援センターから事業の案内をいただいたことがあります。それとこの施策の関係は上乘せやつけ加えということなのでしょうか。

委員 B：南区には3つのシニアサポートセンター(地域包括支援センター)があり地域で担当分けをしています。先日、その連絡会があつて出席してきましたのですが、認知度は低く、どう広報を進めていけばいいのかは、共通した課題でした。周知の方法について、教育施設やクリニックなどへはやっていないようでした。現状、今年度はこのままの取り組みですが、私達が区民会議として提案することで、今後、そのような広報が期待できるのではないかと思います。

委員 C：そもそもシニアサポートセンターがなにをやっているのか、実際に介護が必要な状態となり、そこに行かないとわからないという声が多いので提案させていただきました。介護の事業者も広報はしていますし、家族が要介護の状態となったときには、各自が調べたりするのですが、その前にまずは知ってもらうことが大切なので、学校やまちのクリニックなどでも周知ができればと思いました。

支援者：そのために、ポスターを貼るという提案でよろしいのでしょうか。

委員 D：シニアサポートセンター自体のことがまだまだ知られていないので、まずはそのレベルからの広報が必要で、ポスターを貼るなどの取り組みはしていないとのことでした。

委員 E：学校の総合学習などの取り組みで、身近なクリニックのことや自身の祖父母はどうしていたかなどを調べたりすると、家庭内での話題にもなり理解がすすむのではないかとということで、教育機関を入れさせていただきました。

議長：その他、例えばこのまま7つの施策でいいのかなど、ご意見やご質問はありますでしょうか。各施策の横断的な課題もあるかと思えます。

委員 F：施策2「ファミリー対象イベント みなみフレンドパークの開催」で公共施設等の活用も提案されていますので、あえて施策7「公共施設を活用したイベントの開催」を特化させなくてもいいのではないかと思います。

委員 G：施策7では具体的にはどのようなイベントを想定しているのでしょうか。

委員 H：具体的なイベントは想定していません。子育てセミナーの開催などの話も出ましたが、老朽施設のバリアフリー化などで、多くの方が使いやすいような施設にしようというレベルの内容です。

委員 I：施策2はファミリーに特化した内容なののでしょうか。

委員 J：最初に、施策名ですが「みなみフレンドパークの開催」ではなく“設置”ではないかと思いましたが。都市農園や遊休施設の活用など、いろんなことをファミリーで楽しめるようなことができればと思いました。

委員 K：ファミリーに特化しているのであれば、施策7と一緒にしなくてもいいのではないのでしょうか。

委員 L：ファミリーは狭い意味での「家族」ではなく、子どもから高齢者まで多世代間交流を目的としています。

委員 M：施策名を「多世代交流イベント」にしてはどうでしょうか。

委員 N：実行委員会を組織とありますが、実行委員会を最初に取り組みましょう、と声をかけるのはどこを想定しているのでしょうか。

委員 O：「こういったことがやりたい」という人が集まったときに、実行委員会形式になるということで、どこかに呼び掛けるといったことではないかと思えます。

支援者：施策によって異なりますが、担い手は誰なのか、区民なのか、行政なのか、区民と行政が一緒に取り組むのかなどについても検討をしていただければと思います。

委員 P：設置場所が一番先にきて、そこで集まった方たちでまずは話し始めて、実行委員会ができればと思います。行政は難しいのではないのでしょうか。

委員 Q：ひとつ実例を挙げさせていただきます。笹目川にステージがあります。さいたま県土整備事務所の承諾・協賛、蕨・戸田の衛生センターの協賛、南区役所の後援を得てイベントを行いました。辻地区と内谷地区、曲本の方面では交流がないために、自治会の会長が集まって「やろう」となったのが笹目川納涼の夕べです。協賛金は会長等がいろいろと集めました。世代間交流をやろうという目的でした。災害が発生したときに、内谷中学校に物資が運ばれてきますが、辻地区の物資もそこに運ばれます。分配の際に自治会同士の交流がないと、という目的もありました。経費は60万円から80万円ほどかかりますが、もう2年目になります。大人から子どもまでが出演するステージをやっています。場所さえあれば、なんとかやってみようという話になりますので、「設置場所などの交渉はまず誰がやるのか」という話になるかと思えます。

委員 R：担い手に任意団体と記載していますが、例えばそのようなNPOとかが参画するようになればと思います。

議長：と言うことは、施策7で場所の確保的なことをして、施策2で企画内容などを企画し、実行委員会をどこにするかなどを詰めていくということで、施策2と7は一緒にしていいという意見でよろしいのでしょうか。

- 委員 S：そうすると施策3「区民セミナーの開催」なども一緒にできるのではないのでしょうか。
- 委員 T：施策2の企画なかに施策3が入ってくるということでしょうか。「イベント」という大きなくくりの中に入ってくるのだと思います。
- 委員 U：イベントとなると施策4も入るのではないのでしょうか。
- 委員 V：施策4はイベントの「広報」なんです。しかし、構想は面白いのですが実施のハードルが高いかもしれません。
- 委員 W：施策4に関しては前期の区民会議で「情報のコンシェルジュ」を提案しています。現在は情報端末を少し活用するくらいなのですが、今後実施されることもあるかと思います。数年にわたってこの情報の件についての提案があるということは、ニーズが高いものなのだと思います。なので、この施策4は単体で残しておいた方が、他の施策への核になりそうな感じがします。
- 議長：タイトル等は考えていかなければならないと思いますが、施策2と3と7を統合してはどうかという意見が出ています。
- 委員 X：施策2は体験型で年間を通して開催、3の区民セミナーは単発でおこなうようなイメージだったかと思います。しかし「高齢者の知識・経験活かした」ですから、その内容を変えていけば一緒に考えていけるのでは。
- 委員 Y：施策7「公共施設を活用したイベントの開催」の内容やコンテンツとして、体験型の施策2「みなみフレンドパークの設置」や学習の施策3「区民セミナーの開催」施策6「子育てセミナーの開催」などが入ってくるのではないかと思います。
- 委員 Z：施策3の「南区知恵袋」はシニアバンク的な構想でした。
- 委員 A：「高齢者の知識や経験を活かす」というと高齢者が主となりますが、区民による区民のための、とすると年齢や対象は広がりますよね。
- 支援者：高齢者に活躍してもらって、南区知恵袋をつくるといったお話でした。
- 委員 B：テーマでもある「地域交流の促進」ということで、高齢者の交流といった目的があり、そのシニアにスポットをあてています。教える対象者は多世代でいいかなと思います。さらに、シニアの方々にグループをつくってもらい生き活きと活躍していただくようなイメージです。
- 事務局：ここで、整理をさせていただきます。施策2「みなみフレンドパーク設置」と施策3「区民セミナーの開催」が施策7「公共施設を活用したイベントの開催」に入ってくるのではなく、というお話になっているかと思います。これを統合するということになる、施策7の事業アイデアの「①子育てセミナーや相談会の開催」「②世代間交流の場とする」は関連すると思われるが、「③老朽施設のバリアフリー化」に関しては、施策2と3とは一緒の話ではないかと思います。それはそのまま置いておいたとしても、施策7に2と3を入れるのか、施策2を残して、そこに公共施設の活用も含まれていますとするのか、のどちらかになるかと思います。
- 委員 C：屋外も活用するというスケールの大きな話になっているので、公共施設の活用を前提とするのではなく、施策2は残したほうがいいのかと思います。
- 支援者：やはりコンテンツを先に持ってきたほうがいいのかと思います。
- 議長：「③老朽施設のバリアフリー化」はそれだけで課題になるのでしょうか。
- 委員 D：確かに必要なことで、老朽施設はたくさんあります。しかしそこだけの提案になってしまうと、今期の大きなテーマ「地域間交流」には少し逸脱してしまうような気がします。
- 委員 E：事業アイデアでなく、「課題」なのかもしれませんね。
- 議長：このハード面の整備の件をすこし置かしていただければ、施策2と3の中に施策7の公共施設の活用を入れていくという方向性でいきたいと思いますがいかがでしょうか。
- 委員 F：その方向でよいかと思いますが、確かに古い施設はあり、高齢者は大変苦勞をしております。そのことも、今後の課題として認識して頂ければと思います。
- 議長：予算化をしてもらわなければ整備ができませんが、行政に提案することはできるとは思います。

委員 G：さいたま市では「公共施設マネジメント計画」をすすめています。老朽施設をいかに長く使うかなど、まだ明確にはなっていないこともあります。対象施設は絞られてきています。

委員 H：これは公民館の稼働率が低いとか、そのような意見があったから提案として出てきたのではないのでしょうか。現状としては必ずしも全ての施設で利用率が低いわけではないと思います。老朽施設のバリアフリー化などは一日も早く取り組んでいただきたいですが、「居場所づくり」については浦和区にある公共施設「コムナーレ」ができるときにかなり熱心な意見交換がなされていました。南区内でも居場所づくりに取り組もうという趣旨であれば、これはこれで独立した施策提案でもいいのではないのでしょうか。この武蔵浦和コミュニティセンターは残念ながら「居場所づくり」というほどのつくりにはなっていないですね。コムナーレは広いスペースをいろんな世代の方が活発に使われています。そのような施設は市内にいくつあってもいいのではないかと思います。

議長：施策7は単体であった方がいいのではないかという意見ですね。

支援者：「居場所づくり」は最初のうちは提案されていたかと思いますが、その提案は以前取り組んだからということになりました。

事務局：「高齢者の居場所づくり」というテーマでは第4期に提案をしています。そこでスカイフレーザーパークを学校の庭につくったということになりました。それは今でも機能しています。

委員 I：施策を詰める議論が進みしっかりとしたNPOのようなものができれば施策2や3、6は同じNPOで担当できるのかもしれませんが、しかし、区民会議としてはそれぞれ提案し、趣旨が分かりづらくなってしまうような無理な統合はしないほうがいいのではないかという気がします。

委員 J：私の感覚としては施策2「みなみフレンドパーク設置」はアウトドアで、施策3「セミナー開催」と施策7はインドアという違いなのだと思います。外で専門家のお話を聞くのもいいですし、一つ核があれば一緒でもいいのではないかと思います。コミュニティセンターも、3、4人で花の教室で使用しているなど、あまり活かせていないなと思いますので、もう少し活用がすすめばと思います。

委員 K：施策2と7は統合してもいいのではないかと思いますが、「みなみフレンドパーク」はイベントなのか組織なのかよくわかりませんでした。イベントということでもいいのでしょうか。

委員 L：一つのイベントではなく、いろんな施設や場所を活用したらいいのではという提案です。

委員 M：施策2と7は一緒でもいいのかと思います。実行委員会をつくって、行政に提案していくのがいいのではないかと思います。

委員 N：施策7で「高齢者の居場所づくり」をどうとらえていくかで変わってくるかなと思います。

委員 O：そもそもの「居場所づくり」ということであれば、施策4以外は対象者が違っていても、全て居場所づくりになるのではないかと思います。

議長：拡大解釈をすれば、施策7は他の施策の中に入る、「吸収」でいいのではないかと思います。

いろいろとご意見をいただきましたが、「現状でいいのではないか」「施策2と3と7を統合する」といった意見が今まで出ています。

委員 P：そもそも区民会議のあり方に戻ってしまうかもしれませんが、多岐にわたって提案していくのが目的なのでしょうか。確実にこの期でなにか達成する、というのであればあまりにも多岐にわたってしまいます。1つ2つにしばって必ず実行しようという観点でやるのか、その方向性をしばった方がいいのかと思います。

事務局：区民会議自らが提案して実行するスタイルから、第5期からは「提案型」になっています。「提言」から第7期では「意見」になりました。基本的に区民会議で出てきた様々な意見をいただいて、それを区政に反映できるものはしていこう、というスタイルです。

議長：それであれば、多岐にわたってはいますが、しぼれるものはしぼる、私たちができるものはやっていく、できないものは行政の出方を待つ、ということでもよろしいでしょうか。また後の議題にもなりますが、そのためにアンケートを実施するかどうかのご意見もいただきたい

と思います。

事務局：いろいろとご意見をいただきましたが、今のところではこのまま残して協議をしていくということではいかがでしょうか。

また、皆さまのご意見からでは施策 7「公共施設を活用したイベントの開催」ではなく施策の評価に記載されているような「地域の居場所づくり」が前面に出てきたほうがいいのかと思われませんか。

委員 Q：以前、「高齢者の居場所づくり」は提案したということでした。それを考えると「使いやすい施設づくり」という意味でバリアフリー化などのハード面の打ち出し方にした方がいいのではないのでしょうか。

事務局：ご意見でも出ていたように、浦和のコミュニーレのような、誰でも自由に使えるような「空間の居場所」といった考え方と「既存の施設を使いやすくしていきましょう」という考え方があります。その両面でもいいかと思いますが、その言い方を「居場所づくり」に変えるということについて協議していただければと思います。

議長：事務局からもご提案いただきましたが、現状のまま進め、施策 7は「居場所づくり」に言い方を変えるといった方向性でいきたいと思いますがいかがでしょうか。

《賛同の声多数》

委員 R：提案があったことなのでいいかと思いますが、そうすると事業エリアや対象なども、もともと出ていた意見に変えたほうがいいのかと思います。

議長：7つの意見が明確に分かれているような表現ではないと読んでいて迷ってしまうので、そこも考慮して整理していただければと思います。

議長：続きまして、「アンケート調査の実施について」です。支援者から説明をお願いします。

支援者：前回、会長から提案があったアンケートについて、その内容等についての案です。資料 3 を御覧ください。現在検討している施策について、「3段階くらいの評価」「事業アイデアの有効性についてのチェック」「自由記述」の3つのタイプのアンケート内容です。

A4 版両面くらいで検討しています。そのほかに回答者の年齢層や居住地などの基本データも参考になりますので、項目が入れられればと思います。

また、アンケートの手法については「①委員の皆さまや各団体に協力してもらう」「②笹目川納涼の夕べなどイベントでの実施」「③区役所のロビーでの実施」が考えられます。アンケートの回収は少なくとも 100 票以上の回収を目標としてみました。

合わせて資料 4、スケジュール案も御覧ください。これはアンケートをどう実施するかによって変わってきます。アンケートをやるということになれば、次回の会議でその内容を協議する、ということになります。

議長：ありがとうございます。アンケート実施をするかしないか等、ご意見をいただければと思います。

委員 S：実施するのであれば確実性があつたほうがいいのかと思います。社会福祉協議会などに調査を兼ねて実施した方が有効です。

委員 T：不特定多数への漠然としたアンケートではあまり結果が期待できないので、区民会議委員が所属団体等に持ち帰ってやるのであればいいと思います。

委員 U：アンケートの細かい内容はまた次回協議ということでもよろしいのでしょうか。

事務局：アンケート実施が決まれば、次回、内容を提案いたします。

委員 V：区民会議委員が所属団体等の会議で趣旨をきちんと説明して実施するのが一番いいかと思いますが、それは不可能だと思います。今日はやるかやらないかを定めるくらいですが、今までの協議の成果をはかる機会だと思います。

委員 W：区民会議だけの意見だけではなく、区民からの意見も聞いたという客観性を持った提案だと言いたいと思います。

委員 X：そういった意味では 100 票は少ないのではないのでしょうか。

議長：最低 100 票くらいということだと思います。

委員 Y：私はアンケートをそもそも信用していません。捉え方で回答がころっと変わってしまうからです。本日のような協議の意見は、普通の方に聞いてもあまり意味はないと思います。

支援者：アンケートという方法でなくてもいいのですが、これまでずっと区民会議の中だけで協議してきたので、他の意見を聞くチャンスになるかとは思っています。

委員 Z：アンケートはやるべきだと思います。区民会議の皆さまが所属団体等に依頼すればレベルの高い回答が得られるのではないかと思います。また、区民会議でこんなことを議論しているということを知ってもらったり、両極端の意見が出るかもしれませんが、それは参考にするべきだと思います。

委員 A：私たちは協議をしていますが、一般の方には、資料を読んでもらわないと内容がわからないと思います。

議長：説明用の文章は付けるようにしたいと思いますが、あまり長いと読まれないので工夫が必要です。アンケートの結果だけではなく、アンケートを通じて意見を聞くような活動だにご理解していただいてもいいかもしれません。

他に意見がなければ、多数決で実施するかしないかを評決をとりたいと思います。

《賛成 14 名》

議長：過半数を超えましたので、アンケートは実施するということになりました。

事務局：アンケートの内容を整理したうえで、手法に関してはまた内容に合わせて次回、提案をさせていただきます。

委員 B：アンケートの文字は小さくならないようにお願いします。

委員 C：7つの施策全てを見せるのではなくて、3つなど限定させたほうがよく読んでくれるのではないのでしょうか。

事務局：サンプル数が少ないと意見が偏ってしまいますので、そういった点をご注意いただければと思います。

委員 D：アンケートは 1000 が基本で、そのくらいの回答があれば、正確に意見が出てきます。

支援者：アンケート結果をそのまま実施するというのではなく、参考にしましょうということですので、少ないなら少ないなりにいただいた意見も参考になります。

議長：ありがとうございます。アンケートの内容や手法については次回協議ということでよろしくお願いたします。

それでは、進行を司会にお返しいたします。

3 その他

事務局：次回の日程については 8 月 4 日（月）17 時からとなります。次回もどうぞよろしくお願致します。

4 閉会

——会議項目の全てを終了——